

はじめに

平素より地域の感染症対策にご協力いただきありがとうございます。

医療機関向け情報には **医** を、一般施設向け情報には **全** をつけています。

原則毎月第2・4木曜日に配信し、新たな通知や感染症情報等がある場合、随時臨時号を配信いたします。

全数報告：第28週～第29週（7月8日～7月21日） 定点報告：第25週～第29週（6月17日～7月21日）

全数報告疾患情報

医

—— 市川保健所管内で報告のあった疾患のみ掲載しています

※定点報告疾患については、第28週～第29週のグラフを別添しております

二類感染症	28~29週	累計（年）
結核	9	68

三類感染症	28~29週	累計（年）
腸管出血性大腸菌感染症	1	10

四類感染症	28~29週	累計（年）
レジオネラ症	2	5

五類感染症	28~29週	累計（年）
侵襲性肺炎球菌感染症	1	10
梅毒	1	25
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	2	6

発生動向トピックス

医 全

Topics 1 7月28日は「世界肝炎デー」です！

世界保健機関(WHO)はウイルス性肝炎のまん延防止と患者・感染者に対する差別・偏見の解消や感染予防の推進を図ることを目的として、7月28日を「World Hepatitis Day（世界肝炎デー）」と定め、肝炎に関する啓発活動などの実施を提唱しました。

日本でも、7月28日を「日本肝炎デー」と制定し、国や地方公共団体、医療機関や事業主団体等が協力し、肝炎の病態や知識、予防、治療に係る正しい理解が進むよう普及・啓発を行い、肝炎ウイルス検査の受検を促進しています。

また、日本では7月28日を含む1週間を「**肝臓週間**」として、各地域で啓発イベントを実施しています。

市川保健所においても、HIV等性感染症検査と併せて肝炎検査(B型肝炎・C型肝炎)を行っています。詳細は、[市川保健所ホームページ](#)をご覧ください。

—— 肝炎ってどんな病気？

肝炎ウイルスに感染したりアルコールを過剰摂取したりすると肝臓に炎症が生じ、肝機能が低下します。免疫の異常による肝炎もあります(自己免疫性肝炎)。日本においては、B型肝炎・C型肝炎ウイルス感染による肝炎が多くを占めています。治療せずに放置していると、肝硬変や肝がんに移行することがあります。

— なぜ肝炎対策が必要とされているの？

肝臓は再生能力が高く、病気がある程度進行しないと自覚症状が現れないため「沈黙の臓器」と呼ばれています。適切な時期に治療を受ける機会がなく、本人が気づかないうちに肝硬変や肝がんへ移行する感染者が多く存在することが問題となっています。肝硬変や肝がんへの移行を予防するために、早期診断・早期治療が求められています。

— 肝炎・肝硬変・肝がん等を予防するためにはどうしたらいいの？

① 検査を受けましょう

検査(採血)を受けることで自分が肝炎ウイルスに感染しているか調べることができます。検査は、保健所や千葉県の肝炎ウイルス検査委託医療機関にて無料で受けることができます。検査にて要精密検査となった場合は、検査費用の助成制度※があります
▶千葉県の委託医療機関：<https://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/kansenshou/kanen/index02.html>

市川保健所を受検する際の注意点

- ・完全予約制です
- ・予約は、予約開始日の午前9時からお電話にて受付いたします
- ・症状のある方の検査は受け付けておりません



委託医療機関を受検する際の注意点

- ・検査の対象となる方は下記①～③の要件のすべてに該当する方です
- ①県内にお住まいの方（千葉市、船橋市、柏市除く）
- ②市町村が行う健康増進法に基づく健康増進事業や職場での健康診断等において肝炎ウイルス検査の受診機会がない方
- ③過去にB型またはC型肝炎ウイルス検査を受けていない方
- ・必ず医療機関に連絡の上、受検してください



※ 千葉県ウイルス性肝炎患者等重症化予防推進事業(フォローアップ事業、精密検査費用助成事業)

② 検査で陽性だった場合は、早期に治療を受けましょう

感染していた場合は、早期に適切な治療を受けることで肝炎の治癒あるいは肝硬変や肝がんへの悪化を予防することが可能です。また、公費による治療費助成を受けることが可能です。 ▶[千葉県肝炎対策情報のページ](#)

【千葉県肝炎治療特別促進事業】

B型・C型肝炎に対する抗ウイルス治療
(インターフェロン治療、インターフェロンフリー治療、核酸アナログ製剤治療)
への公費負担による助成制度

③ 感染を予防しましょう

日常生活において肝炎ウイルスに感染する可能性のある行為は、「血液や体液が体内に入る可能性の高い行為」です。例として、性的接触や母子感染、カミソリの共用等から感染します。トイレや入浴といった行為では感染する可能性は低いです。

▶[日常生活の場でウイルス性肝炎の伝播を防止するためのガイドライン](#)

B型肝炎

C型肝炎

症状	急性肝炎 <ul style="list-style-type: none"> ■ や倦怠感、黄疸等の症状が出現 ■ 重症例を除いて1カ月程度で回復する ■ 稀に劇症肝炎を引き起こすことがある 	急性肝炎 <ul style="list-style-type: none"> ■ 多くは無症状で気づきにくい ■ 感染者の60~80%は慢性肝炎へ移行
	慢性肝炎 <ul style="list-style-type: none"> ■ 乳幼児期に感染した場合、数年~数十年間は無症状で感染が持続するキャリアとなり、思春期以降、肝炎が起こり始める ■ 一過性の肝炎を起こした後は、肝機能が安定する人がほとんどだが、10~20%は肝炎が持続する(慢性肝炎) ■ 慢性肝炎の場合、肝硬変や肝がんに移行する場合がある 	慢性肝炎 <ul style="list-style-type: none"> ■ 慢性肝炎の30~40%が肝硬変へ移行 ■ 肝硬変は、肝がんや食道静脈瘤を合併することがある ■ 肝硬変や肝がんが進行すると、黄疸等の症状が進行する
治療	急性肝炎 <ul style="list-style-type: none"> ■ 基本的に無治療 ■ 劇症肝炎は、抗ウイルス薬やステロイドの投与、血漿交換、透析等を行う場合がある 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 抗ウイルス療法(インターフェロンフリー) 体の中からウイルスを排除することが目的 ■ 肝庇護療法 肝臓を保護することが目的
	慢性肝炎 <ul style="list-style-type: none"> ■ 持続感染の場合、ウイルスは完全排除できない ■ 抗ウイルス治療(インターフェロン、核酸アナログ製剤)…ウイルスの増殖を抑えることが目的 ■ 肝庇護療法…肝臓を保護することが目的 	
ワクチン	あり <ul style="list-style-type: none"> ■ キャリアの母親から生まれた子への接種 ■ 0歳児への定期接種 ■ 医療従事者等の希望者への接種 	なし



【参考】厚労省：知って、肝炎プロジェクト

<https://www.kanen.org/>

【参考】肝炎情報センター

<https://www.kanen.ncgm.go.jp/index.html>

【参考】国立感染症研究所：C型肝炎とは

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/322-hepatitis-c-intro.html>

【参考】国立感染症研究所：B型肝炎とは

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/321-hepatitis-b-intro.html>

Topics 2

梅毒の届出数は昨年度と同水準で推移しています

千葉県では、2024年の累計届出数が250例となりました。1999年の現行感染症サーベイランス開始以降、最も届出数が多かった2023年と同水準で推移しています(図1)。

男性では176例、女性では74例となっており、男性の届出数が多い状況です。男性では20代~50代と幅広い年齢層であることに対し、女性では20代が突出しています(図2)。

梅毒の原因となる病原体は「梅毒トレポネマ」という細菌です。主に、菌を排出している感染者との粘膜の接触を伴う性的接触や疑似性的接触で感染します。また、感染した妊婦の胎盤を通して胎児に感染することがあり(母子感染)、先天梅毒の原因となります。

図1

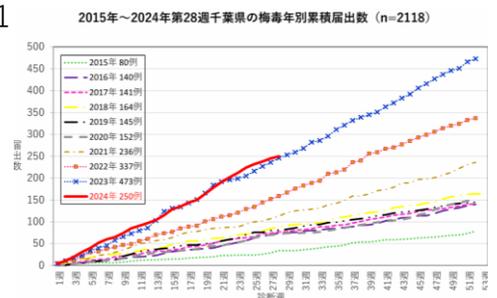
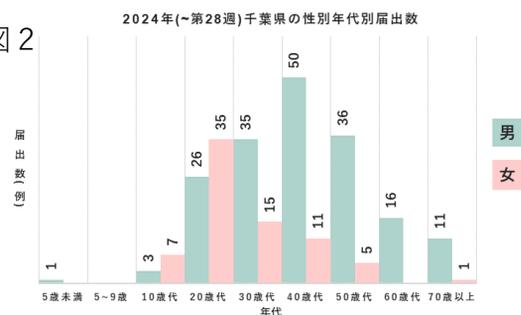


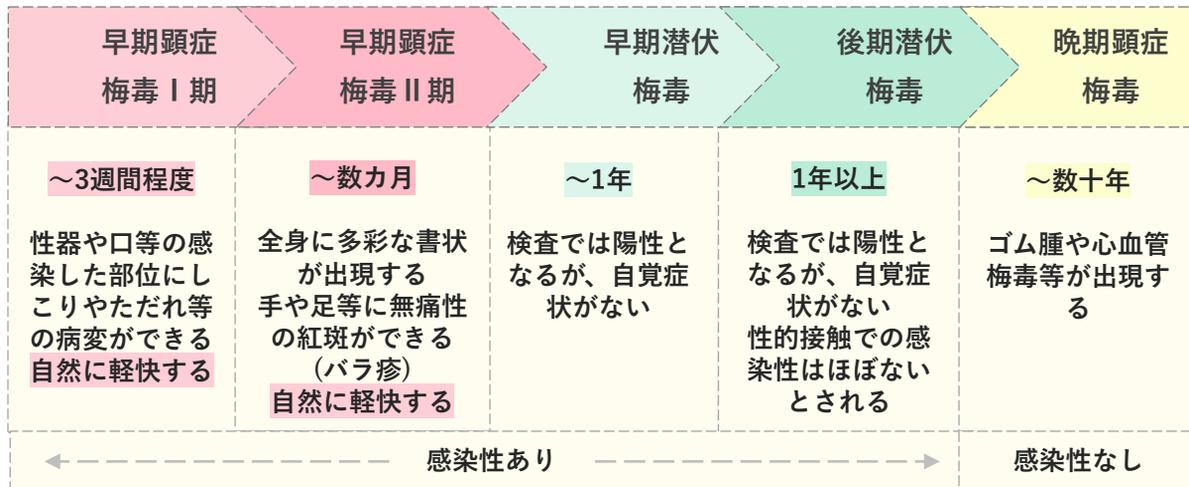
図2



感染初期は、性器や口の中に指先くらいのしこりや痛みのない少ないただれができます。少し経つと自然に軽快するため、受診・治療が遅れることがあります。

感染から数週間～数カ月程度経過すると、血液によって最近が全身に運ばれ、痛みやかゆみのない発疹が手のひらや足の裏、体中に拡がります。「バラ疹」と呼ばれる症状です。さらに治療をせずに数年から数十年放置していると、心臓や血管、脳等の複数の臓器に病変が生じ、時には死に至ることもあります。

梅毒の感染を予防するために、不特定多数の人との性的接触を控えること、性的接触時にはコンドームを適切に使用すること(使用していても100%感染を防げるわけではありません)、梅毒を疑われる症状があった場合は早めに医療機関を受診することが重要です。



【参考】厚労省：梅毒Q&A

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/syphilis_qa.html

【参考】国立感染症研究所：梅毒とは

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/465-syphilis-info-141107.html>

【参考】日本感染症学会：梅毒診療の考え方(令和6年3月)

https://www.kansensho.or.jp/uploads/files/topics/syphilis_240404.pdf

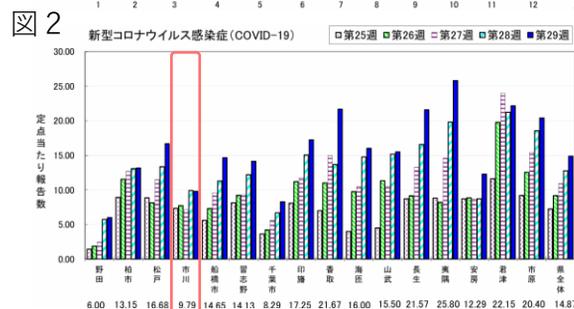
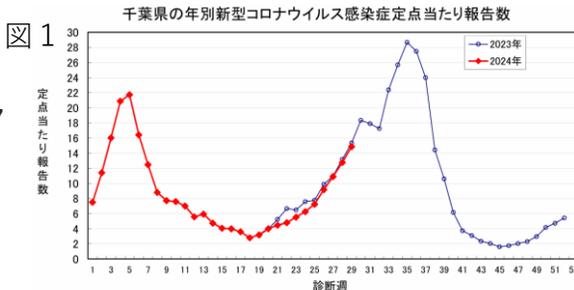
新型コロナウイルス感染症

医 全

—— 定点医療機関による感染者数の報告は増加傾向です

第29週の千葉県全体の定点当たり報告数は、14.87(人)でした(図1)。報告数が多かった地域は、夷隅25.80(人)、君津22.15(人)、香取21.67(人)でした。

管内の報告数は、前週よりやや減少し、9.79(人)となっています(図2)。



感染
対策

インフルエンザを予防する
方法と同様です

【参考】千葉県感染症情報センター

<https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/c-idsc/documents/202429covid19.pdf>

—— 定点医療機関における感染者数の報告は増加傾向です

市川保健所管内インフルエンザ発生状況（人）

	A型	B型	A+B型	AorB型※	臨床診断
報告数	12	0	0	0	0

※型非鑑別キット

（医療機関からの型報告なく不明な2例を除く）

第29週の千葉県全体の定点当たり報告数は、0.48(人)でした(図1)。報告数が多かった地域は、香取4.67(人)、印旛1.29(人)でした。

管内の報告数は、0.32(人)でした(図2)。

第29週に千葉県内で報告のあった76例のうち、A型70例(91.1%)、B型2例(2.6%)となっており、A型が多い状況です。

2024年第28週～第29週における定点各医療機関からのインフルエンザ報告数をまとめた図です

図1

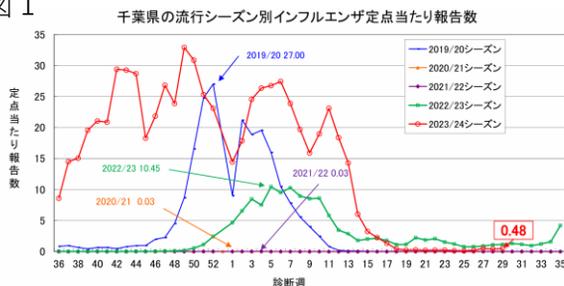
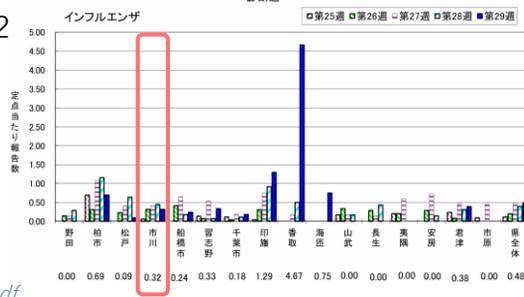


図2



感染対策

- ①手洗い・手指衛生
- ②マスクの着用・咳エチケット
- ③室内の換気 ④室内の湿度の保持
- ⑤人込みを避ける ⑥ワクチン接種

【参考】千葉県感染症情報センター

<https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/c-idsc/documents/202429influenza.pdf>

【参考】厚労省：インフルエンザQ&A

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/infulenza/OA2023.html

お知らせ

- ・登録アドレスの廃止、変更等は下記アドレスまでご連絡をお願いします
- ・いちうら感染症情報は、毎月第2・4木曜日を配信予定としていますが、事情により配信が遅れる場合があることをご了承ください
- ・いちうら感染症情報の内容は主に公的機関の情報を基に作成し、できる限り最新で正確な情報発信に努めておりますが、各登録機関の責任においてご利用ください
- ・また、メールの安全性についても千葉県の情報セキュリティ対策により安全性の確保を図っておりますが、各登録機関におかれましてもセキュリティ等の注意をお願いいたします

配信元

千葉県市川健康福祉センター
（市川保健所）
いちうら感染症情報
ichiurainf@pref.chiba.lg.jp